

令和5年度 横浜市立本町小学校 学校運営協議会 記録

日 時:令和5年5月13日(土) 10:00~11:15

<参加者>

9名

<本日欠席>

6名

1 開会挨拶

2 校長挨拶

3 自己紹介

4 委員委嘱

校長から各委員に委嘱状



5 役員選任

6 会長挨拶

・コロナ禍ではあるが学校と連携して子どもを見守っていきたい。

7 今年度の学校運営について(校長)

○学校経営方針の概要。

・この3年余りの間、新型コロナウイルス感染防止対策や制限の中で運営にも変化があった。

→ICTの活用、学校行事の精選、教職員の働き方改善

・5月8日に新型コロナウイルス感染症が「第5類」の区分に引き下げられ、また少しずつ学校行事等も見直していく。

今年度の運動会は久しぶりに、保護者観覧制限無しでの開催を予定。

・本校の教職員は全員が子どもたちに愛情をもって教育活動を行っている。

「チーム本町」として「誰もが安心して集える学校、豊かな学びができる学校、自ら学ぶ学校」を目指す。

・今年度も、低学年は「生活科」、中学年以上では「総合的な学習の時間」を柱に魅力ある授業づくりを研究推進していく。この学習では、地域の皆様の力を借りていくこととなるので、引き続き協力をお願いしたい。子どもたちを「まち」と共に育てていくという視点をより充実させていきたい。

・子どもを取り巻く社会、家庭の状況は変化しており、特別な配慮、個別の指導が求められる子どもも増え

てきている。その中で友達との接し方にも課題があり、「いじめ」と言われる事態も起きている。この課題に対して今年度は「いじめの未然防止」を最重要取り組みとして位置付けて学校を運営していく。

具体的な取り組みとしては、6年生の学級増(2クラス→3クラスを学校独自で)、非常勤職員の加配による児童支援、4月の引継ぎや日々の引継ぎを強化(児童情報共有等の時間確保のために授業時間を工夫)教科担任制による学年経営などを実施している。

8 主な年間行事について

- ・5月27日に運動会を実施する予定。9月～11月にかけては、各学年で遠足、宿泊体験学習を実施予定。
- ・12月2日に公開授業研究会を予定。
- ・12月9日に本町フェスティバルを予定。
- ・3月19日に卒業式を予定。



9 委員の皆様より

- ・新着任の先生が多くて驚いた。各学年に新しい先生が入っており、在任の先生方が各学年をまとめるのも大変だと思う。
- ・子どもも先生が多く新しくなり、混乱するのではないかと心配していたが、アンケート等の取り組みも実施されており、子どもたちも安心して学校に通えているようで良かった。
- ・本町小は、研究授業等が多くあり、講師の方もたくさんくる。子どもたちの学びのために奨励会としても引き続き協力していきたい。
- ・今年度、本町フェスティバルは通常開催。収益なども教育に役立てたい。
- ・地域、学校と協力し、教えてもらいながら子どもを見守っていきたい。
- ・コロナ前も後も経験した。先生たちはいつも熱心に指導してくれている。色々なことも包み隠さず、情報提供してくれているので安心している。
- ・先生方の働き方改革大事だと思う。先生たちが元気だから子どもたちも元気になる。
- ・コロナ禍で黙食などの取り組みがあり驚いたが、その中で先生たちが最善をつくしてくれていることに感謝している。
- ・本町フェスティバルで120周年に向けても収益をあげたい。
- ・本町小は、良い意味で先生と子どもたちの距離も近くありがたい。先生たちは子どもたちに尊敬される存在であってほしい。先生たちは大変だと思うが、引き続き頑張ってもらいたい。
- ・教職員の働き方改革で仕事を減らせと言われて中、本町小では、今年度多くの教職員が異動等により変わっている。本町小の働き方を理解しきれない職員もいるかもしれない。働き方改革は職員だけでなく、子どもたちにとっても良いものでなくてはならない。働きを制限するのではなく、精選して見直ししていくことが必要。先生たちは、授業力を上げて子どもたちが楽しく授業することができるようにしなければならない。
- ・本町小は他の学校とは少し違う。まちには材がたくさんある。少し歩けば本物が溢れている。しかし、一番

の材は、地域の方々。その思いが本物である。人が変わると楽に流れてしまうこともある。校長、副校長、教務主任、専任等がしっかりと連携して、職員に伝えていく必要がある。

- ・9年間の教育という意味でも、本町小としっかりと連携していきたい。校長間だけでなく、職員同士の交流もコロナ前に戻していきたい。
- ・教育現場の課題は非常に大きい。だからこそ、教員はアンテナ高く張って頑張っていきたい。
- ・教職員という立場であぐらをかいているのではなく、新しい感覚・授業力・生徒理解などを中心に研修等を積み重ねていき、人材育成をしっかりとやっていきたい。そうしないと課題解決できない。
- ・各小学校と連携して、子どもたちにとって不利益にならないように中学校もしたい。
- ・キッズの児童も増えていると聞いている。放課後の居場所として期待されているところもあるので、学校と連携して、児童の情報を共有してほしい。また、そこに地域の力もいただいて、子どもたちを見守ってほしい。
- ・これまで大分長く、地域・学校・行政と関わってきた。職員は数年で変わってしまう。子どもも馴染むのは、大変だと思う。
- ・自分が子どもの頃と違い、型にはまった対応が強いられ、融通の利かない現在は、行政も学校も大変だと思う。
- ・コロナ禍でふれあい給食がなくなるなど、交流も途切れていたが、まちで見かける子どもたちは、友達と助け合い楽しく生活している様子が見られる。昨年は、リモートや総合の学習(染物)で交流することもできたので、良かった。
- ・キッズクラブも遅くまで大変だと思うが、頑張してほしい。
- ・まちで子どもに声をかけるのも、この時代難しいところもある。防犯キャップやジャンパーを着たら大丈夫かなど、いろいろな意見もあるが、今後の交流の仕方については、課題がある。しかし、子どもたちの安全、安心のために、できることは協力していきたい。

10 今後の予定について

- ・第2回:9月8日、授業見学から協議会(13:00過ぎを予定。詳細は後日)
- ・第3回:10月31日、全職員が参加しての協議会(15:30～を予定)
- ・第4回:2月17日、学校評価等について協議会(10:00～を予定)

◎6月2日に「横浜ばら祭り」を開催予定。本町小で行う。

11 閉会挨拶

